

評価項目		評価の ウェイト
評価の着目点		
判断基準		
参加表明者の経験及び能力		
資格要件		
技術部門登録		
(様式－２) ① 本業務に関する部門（道路部門 又は 鋼構造及びコンクリート部門）の建設コンサルタント登録がある機関、公益社団法人、公益財団法人、独立行政法人、学校教育法に基づく大学。 ② 上記以外		① ５ ② ０
業務経験		
業務実績		
(様式－２) 同種又は類似業務実績を以下の順位で評価する。 ① 同種業務の実績がある。 ② 類似業務の実績がある。 設計共同体については、実績がない者が含まれる場合は指名しない。 記載する業務は１件（設計共同体の場合はそれぞれの者について１件）とする。 ただし、複数の業務をもって上記業務実績を証明する場合においてのみ、業務を２件記載してもよい。		① １０ ② ５
入札説明書（共通事項）４．（２）１）ア）a）～d）に該当する業務の場合は指名しない。 設計共同体の場合は、上記に該当する者が含まれる場合は指名しない。		－
専門技術力		
業務成績		
入札説明書（共通事項）４．（５）２）ア）に示す実績の平均業務評定点等を以下の順位で評価する。 なお、評価対象業務の業種区分は４．（１）１）ア）に限る。 評価対象の優先順位は以下のとおりとし、優先順位の高い実績がありながら、優先順位の低い実績で参加しようとした場合は加点しない。 また、複数の実績で参加しようとした場合についても加点しない。 １）国交省等発注の実績 ２）地方自治体等の受注実績を評価する試行 なお、上記２）の実績により評価を行う場合は③と評価し加点するが、１）又は２）の実績がない場合は⑥として評価し、加点しない。 ① ８０点以上 ② ７９点以上８０点未満 ③ ７８点以上７９点未満 ④ ７７点以上７８点未満 ⑤ ７６点以上７７点未満 ⑥ ６０点以上７６点未満		① ３０ ② ２４ ③ １８ ④ １２ ⑤ ６ ⑥ ０
優良表彰		
(様式－２) 入札説明書（共通事項）４．（５）２）イ）に示す優良業務表彰の実績がある者を以下の順位で評価する。 なお、評価対象業務の業種区分は４．（１）１）ア）に限る。 ① 関東地方整備局発注業務で、優良業務表彰「局長表彰」を受けた経験がある者。 ② 関東地方整備局発注業務で優良業務表彰「部長表彰」または「事務所長表彰」を受けた経験がある者。 ③ インフラＤＸ大賞（工事・業務分野における国土交通大臣賞、優秀賞）を受けた経験がある者。 ④ 関東インフラＤＸ大賞（局長）を受けた経験があるもの。 ⑤ 関東インフラＤＸ大賞（事務所長）を受けた経験があるもの。 ⑥ 上記以外		① ５ ② ３ ③ ３ ④ ２ ⑤ １ ⑥ ０
管理技術者の経験及び能力		

評価項目		評価の ウェイト
評価の着目点		
判断基準		
資格要件		
技術者資格		
(様式－３) 技術者資格を以下の項目で評価する。 なお、各々の資格の詳細については４．（２）２）ア）による。 ① ・ 技術士 ② ・ 国土交通省登録技術者資格（公示日までに登録された資格）（施設分野：小規模附属物－業務：点検） ③ ・ RCCM（上記 ②を除く） ・ 土木学会認定土木技術者（特別上級、上級、１級）（上記 ②を除く） ・ コンクリート診断士 ・ 土木鋼構造診断士		① ４ ② ３ ③ １
継続教育取組実績		
CPDの取得状況		
(様式－３) CPDの取得状況について以下の項目で評価する。 ① 建設系CPD協議会の構成団体が発行する継続教育（CPD）の登録証明書等が有り、かつ建設系CPD協議会の各構成団体が推奨する単位を満たしている者。 ② 上記以外		① １ ② ０
業務経験		
業務実績		
(様式－３) 同種又は類似業務の実績等を以下の項目で評価する。 ① ・ 同種業務の実績を有する者。 ・ 同種業務に関する「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」による実績の認定を受けた者。 ・ 同種業務に関する業務の成果をマネジメントした実務経験を有する者。 ② ・ 類似業務の実績を有する者。 ・ 類似業務に関する「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」による実績の認定を受けた者。 ・ 類似業務に関する業務の成果をマネジメントした実務経験を有する者。 但し、入札説明書（共通事項）４．（２）２）イ）但し書きに記載の業務は、実績として認めない。		① ８ ② ４
専門技術力		
業務成績		
入札説明書（共通事項）４．（５）２）ア）に示す実績の平均技術者評定点等を以下の順位で評価する。 評価対象の優先順位は以下のとおりとし、優先順位の高い実績がありながら、優先順位の低い実績で参加しようとした場合は加点しない。 また、複数の実績で参加しようとした場合についても加点しない。 １）国交省等発注の実績 ２）マネジメントした実務経験 又は 地方自治体等の受注実績を評価する試行 なお、上記２）の実績により評価を行う場合は③と評価し加点するが、１）又は２）の実績がない場合は⑥として評価し、加点しない。 ① ８０点以上 ② ７９点以上８０点未満 ③ ７８点以上７９点未満 ④ ７７点以上７８点未満 ⑤ ７６点以上７７点未満 ⑥ ６０点以上７６点未満		① ３ ０ ② ２ ４ ③ １ ８ ④ １ ２ ⑤ ６ ⑥ ０
令和５年度に完了した業務について、担当した国交省等発注業務（建築関係建設コンサルタント業務、補償関係コンサルタント業務及び港湾空港関係を除く）の平均技術者評定点に６０点未満がある場合は評価点を減ずる。 なお、職務上従事した立場は、管理（主任）技術者又は担当技術者とする。		－ ５

評価項目		評価の ウェイト
評価の着目点		
判断基準		
	優良表彰	
	(様式－３) 入札説明書（共通事項）４．（５）２）イ）に示す優秀技術者表彰又は優良業務表彰等の実績がある者を以下の順位で評価する。 なお、評価対象業務の業種区分は４．（１）１）ア）に限る。 ① ・ 関東地方整備局発注業務で、優秀技術者表彰又は優良業務表彰を、局長より受けた経験がある者。 ・ 海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣賞を受けた経験がある者。 ② ・ 関東地方整備局発注業務で、優秀技術者表彰又は優良業務表彰を、部長または事務所長より受けた経験がある者。 ・ 海外インフラプロジェクト優秀技術者 国土交通大臣奨励賞を受けた経験がある者。	① 5 ② 3
担当技術者の経験及び能力		
	資格要件	
	技術者資格	
	(様式－３) 技術者資格を以下の項目で評価する。 ① 国土交通省登録資格（以下の施設分野及び業務に該当する資格） 担当１：（施設分野：小規模附属物、業務：点検） 担当２：（施設分野：道路土工構造物（土工）、業務：点検） 担当３：（施設分野：道路土工構造物（シェッド・大型カルバート等）、業務：点検） 担当４：（施設分野：舗装、業務：点検） 担当５：（施設分野：小規模附属物、業務：診断） 担当６：（施設分野：道路土工構造物（土工）、業務：診断） 担当７：（施設分野：道路土工構造物（シェッド・大型カルバート等）、業務：診断） 担当８：（施設分野：舗装、業務：診断） ② 上記以外 なお、当該資格を保有していることを証明する書類（資格者証の写し等）を添付すること。 上記の担当１から担当８については、技術者を各１名ずつ配置すること。（同一技術者による重複配置は認めない。） 評価にあたっては、担当１から担当８の評価の平均をもって評価する。	① 2 ② 0
	評価項目	
評価の着目点		
判断基準		
工程計画・その他（様式－８）		
	工程計画	
	業務量の把握状況を示す工程計画が記載されていれば評価する。	50
	その他【安全管理】	
	妥当性があれば評価する。	50
	仕様の内容を超えるような記載がある場合は、加点しない。 以下の場合には技術提案書を無効とする。 ・ 件名が異なる場合 ・ 工程計画、その他（安全管理）の２項目のうち、いずれか又は両方の記載が無い ・ A４版１枚を超える記載である ・ 記載内容が仕様と異なる（他の業務と見受けられる） ・ 明らかな法令違反と見受けられる記載がある ・ 未提出である	－

【R 7・8 宇都宮国道管内道路附属物及び防災点検業務】

評価項目			評価の ウエイト
評価の着目点			
判断基準			
賃上げの実施に関する評価			
	入札説明書（共通事項）１７．（６）に示す賃上げの実施について、以下のいずれかで評価する。 ①・入札説明書（共通事項）１７．（６）１）を満たす賃上げ表明書を提出している。 ②・上記以外		① １１ ② ０

様式－2

予定価格	78,080,000	(消費税抜き)
調査基準価格	62,790,000	(消費税抜き)
価格点の満点	60	

入札調書(総合評価落札方式)

1. 件名

R7・8宇都宮国道管内道路附属物及び防災点検業務
2. 所属事務所

宇都宮国道事務所
3. 入札日時

令和7年6月19日

11:00～

業 者 名	技術評価点の内訳					履行確実性度	技術評価点 合計 (A)	第1回			備考	摘要
	参加表明者及び 予定技術者の 資格及び実績 等	参加表明者及び 予定技術者の 成績及び表彰	賃上げの実施 に関する評価	工程計画 その他	評価テーマ			入札価格	価格評価点 (B)	評価値 (A) + (B)		
評価のウェート	8.5	19.9	3.1	28.4	0.0		60.0000	—	60.0000	120.0000	履行確実性確認の結果、令和7年6月23日付け落札決定	
アジア航測(株)	8.5	18.1	3.1	28.4	0.0	1.00	58.2938	62,880,000	11.6803	69.9741		落札
日本工営(株)	8.3	18.1	3.1	28.4	0.0	1.00	58.1516	63,000,000	11.5881	69.7397		
(株)保全工学研究所	5.3	0.0	3.1	14.2	0.0	1.00	22.6635	62,800,000	11.7418	34.4053		

※「技術評価点の内訳」の各項目の評価点は小数第2位を切り捨てて算出しているため、各項目の和に「履行確実性度」に係る係数を乗じたて求めた値と、技術評価点合計(A)の値は合致しません。

※評価値(A) + (B)は、端数処理を行う前の技術評価点と価格評価点の和に対し、少数第5位以下を切り捨てて算出しているため、技術評価点合計(A) + 価格評価点(B)と合致しない場合があります。

入札金額は、入札者が見積もった契約金額の110分の100に相当する金額である。